

南相馬市博物館企画展

台所からキッチンへ

平成 22 年

8 | 7 | 土 → 10 | 11 | 月

道具にみる便利さのゆくえ

わたしたちの歴史は、「便利さ」を獲得するための道具を考案し、普及させた歴史ともいえます。

昭和 30 年以降になると、ライフラインの整備にもなつて、家庭労働の省力化が図られ、便利性が求められるようになりました。これら生活の変化は、「台所」が「キッチン」とか「ダイニングキッチン」と呼ばれるようになってきたことでも分かるよう、「台所」に象徴的にみられます。

今回の企画展では、「台所」に着目し、身近な生活用品や家庭電化製品を通して、家事労働が変化するようにをみることにします。

また便利さを追う一方で、失われた知恵や知識も少なくありません。「便利さ」ということについても考えてみます。



飯台
マッチ
羽釜
木製しゃくし
陶製おろし器

ダイニングテーブル
電気コード
炊飯ジャー
プラスチックしゃもじ
プラスチックおろし器

●観覧料

区分	個人	団体
一般	400 円	350 円
高校生	200 円	150 円
小中学生	100 円	80 円

団体料金は 20 名様以上 市内（飯館村もふくむ）に居住・通学する小中高生は無料

●企画展記念講演会

演題 「台所からキッチンへー道具にみる便利さのゆくえー」

講師 岩崎真幸氏（みちのく民俗文化研究所代表）

日時 平成 22 年 8 月 28 日（土） 13 : 30 ~

※聴講無料、ただし整理券が必要です。

●博物館講座「昔の暮らし体験」

場所 旧武山家住宅（原町区北原）

日時 平成 22 年 9 月 18 日（土） 9 : 00 ~ 12 : 00

内容 昔の生活を体験します。昔の灯りの体験や、蚊帳などに入ってみます。

●展示解説会

日時 平成 22 年 8 月 8 日（日）

① 10 : 30 ~ ② 13 : 30 ~



福島県民の日とは

明治 9 年（1876）8 月 21 日、旧福島県・磐前県・若松県の 3 県が合併し、現在とほぼ同じ姿の福島県が誕生したことにちなみ、平成 9 年（1997）から毎年 8 月 21 日を「福島県民の日」と制定しました。

8月21日(土)・22日(日)

県民の日を記念して 無料開放します

8 月 21 日（土）・22 日（日）、「福島県民の日」を記念して、南相馬市博物館・鹿島歴史民俗資料館を無料開放します。「古武道演武」などのイベントも開催予定です。皆さまのご来館をお待ちしております。

特別展

鹿島の寺院

平成22年 10月30日(土) ▶ 12月5日(日)

室町時代に創建された阿弥陀寺に伝わる仏教関連資料、宝蔵寺に伝わる室町期の版木資料、羽黒修験の寺・日光院（現日光寺）の江戸時代の旧修験関係資料など、中世から近世にかけての、鹿島の寺院資料を紹介します。



紙本着色 秋葉三尺坊画像

県指定重要有形民俗文化財

日光寺所蔵

◆特別展関連イベント

博物館講座「鹿島の寺院」

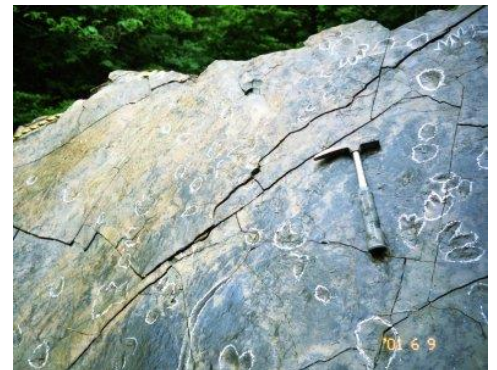
日時 平成22年11月20日(土) 13:30~

常設展示室 ミニテーマコーナー

大地に刻まれた 恐竜たちの歩み

平成22年 6月29日(火)~9月20日(月)

南相馬市内では、今まで数回、ジュラ紀の恐竜足跡化石が発見されています。どのような足跡が発見されているのでしょうか？ここでは、平成13年(2001)に旧鹿島町(鹿島区)が行った発掘調査の結果を中心に、市内の足跡化石を紹介します。恐竜たちが歩いた、太古の南相馬の大地を想像してみてください。



密集した足跡化石(2001)

写真提供：平宗雄氏

夏休み・化石プレゼント！ 限定100個

7月25日(日)より、来館した小中高生先着100名の方々に、くじ引き(ハズレなし)で、市内の恐竜時代(ジュラ紀後期)の化石をプレゼントします。何が当たるかは、お楽しみ！化石がなくなり次第終了しますのでお早めに！

常設展示室 ミニテーマコーナー

カエルなぜ鳴くの？

—実りの秋の田んぼから、カエルの未来を考える—



博物館に行けば、
わかるケロ!!

平成22年 9月22日(水)~12月28日(火)

●カエルすむ田んぼから、カエルの生態や、カエルと共存する未来の田んぼについて考えます。

- Q. カエルって、どうしてヌルヌルしているの？
- Q. カエルって、どうして飛びはねるの？
- Q. カエルって、どうして少なくなったの？
- 博物館で、カエルの「なぜ？」を調べてみよう!!

カエルマニア(カエラー)必見!!
カエルグッズも多数展示!!

カエルって、南相馬に
何種類いるの？



浦尻貝塚 縄文まつり 平成22年 9月5日(日)

10:00~15:00 *雨天決行

5000年前の縄文ムラで繰り広げられる市民手作りの体験イベント

●縄文体験コーナー

縄文クイズラリー 弓矢体験 まが玉づくり 火おこし体験 縄文土器さがし 昔あそび

●イノシシ肉汁 無料試食

●貝塚発掘調査現地公開 10:30~13:30 ところ：国史跡浦尻貝塚（小高区浦尻）

■「縄文まつり」に関する博物館関連イベント

①考古学プチサロン

「徹底説明！国指定史跡・浦尻貝塚」

浦尻貝塚のナゾをわかりやすく説明します。

9月4日(土) 10月2日(土) 13:30~15:00

②縄文土器作り

「浦尻貝塚の土器をつくってみよう」

9月12日(日) 10:00~15:00

材料費：無料 事前申込みが必要です

考古学プチサロン 市民座談会

6月から始まった考古学プチサロン。平成21年度は224名の参加がありました。発掘された遺物を目の前で見たりふれたりしながら、考古学のなぞをわかりやすくお話しします。

9月・10月・11月・12月の第一土曜 13:30~15:00

対象／小学校高学年以上 定員／40名以内 参加費無料 1回だけの参加も歓迎！

鹿島歴史民俗資料館より

平成22年度夏企画展

むかし どうぐ く かしま せいかつ 昔の道具と暮らし 鹿島の生活

平成22年 7月3日(土)~10月31日(日)

親子で学ぼう！鹿島の昔の暮らし…

戦後65年、われわれは、高度経済成長とともに、“物の豊かさ”を求めてきました。そのため、生活様式も大きく変わり、多くのものを失ったと思われます。

現在、多くの人たちが、「家族の絆」、「自然との共存」といった“心の豊かさ”を捜し求め、改めて失われた昔の生活を回顧し始めています。また、昔のことを何も知らない昭和40年代以降に生まれた世代が親となり、これまで語り継がれてきた昔のことが断絶し、忘れ去られようとしています。

今回、昭和30年代以前の生活道具と高度経済成長期ごろの家庭電化製品を展示し、以前の暮らしの姿とその発展の様子について紹介します。

展示資料：いちこ・あなか・せんたく板・たらい・ラジオ・テレビ・

電話機・電気あなかなど

平成22年度夏企画展

親子で学ぼう!!

むかし どうぐ く かしま せいかつ

昔の道具と暮らし 鹿島の生活

期間：平成22年7月3日(土) ~ 10月31日(日)

鹿島の日記念無料開放

8月21日(土)・22日(日)

開催期間中の休館日

7・5、12、30、26、
8・2、9、16、23、30、
9・6、13、20、27、
10・4、12、19、26

会館学費による
展示解説会
平成22年7月3日(土)
午後10時~11時

鹿島歴史民俗資料館

〒979-2334
福島県相馬市鹿島区西町三丁目1
TEL: 0244-46-4201
URL: <http://www.city.minamisoma.lg.jp>
E-mail: k-shiryukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 午前9時~午後4時45分
休 日 祭日 祝日 毎月20日(月曜日) 22日(水曜日) 23日(木曜日) 24日(金曜日) 25日(土曜日) 26日(日曜日) 27日(月曜日) 28日(火曜日) 29日(水曜日) 30日(木曜日) 31日(金曜日)

観 覧 料 一般 110円(15歳以下 無料)

◎ 内は10歳以上の有料料金です。
※ 障がい者、高齢者など、ご来館時、障がい者、高齢者などの障がい、年齢の認定が必要です。
※ 障がい者、高齢者などの障がい、年齢の認定が必要です。

市内の小中高生は無料です!

南相馬市博物館の催し物 7月～12月

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。
問合せは 南相馬市博物館 0244-23-6421

期 日	タイトル	詳 細
7月31日(土)	体験学習 「コハクや滑石で 勾玉をつくろう」	10:00～12:00 定員 大人20名・子ども20名 講師 佐藤祐子学芸員 縄文時代から使用されていた勾玉の歴史や技術を学びながら、コハクや滑石で勾玉を作ります。 【持ち物】鉛筆・タオル1枚・蛍光ペン 【材料費】コハク 1,050円・滑石 250円 ※コハクは20名限定です。申込み時にコハク・滑石のどちらかを申し出てください。
8月7日(土)	体験学習 「自然観察会 —夏の真野川で植物・魚・ カエル・虫をさがそう!!」	9:00～12:00 定員 20名 講師 薄葉満氏(日本植物分類学会)・佐藤洋司氏(福島県野生動物研究会)・伊原禎雄氏(奥羽大学)・ 三田村敏正氏(福島昆虫ファウナ調査グループ) 夏の真野川で、河原の植物を観察したり、木陰で涼みながらカエルや昆虫採集をします。魚も採れるかも! 【持ち物】帽子、飲み物、水に濡れてもいい服装とクツ、着替え、タオル、アミやバケツ(持っている人)
8月8日(日)	体験学習 「化石採集」	13:30～15:30 定員 20名 講師 平宗雄氏(相馬中村層群研究会) 市内の地層から化石を採集します。 【持ち物】軍手・新聞紙・手さげ袋など
8月21日(土)	博物館講座 「くすし字にみる歴史② 藩家老草野正辰「手控」の二宮尊徳像」	13:30～15:30 定員 40名 講師 水久保克英主査 幕末期、奥州中村藩でおこなわれた報徳仕法の指導者二宮尊徳の人物像について、藩の当事者の一人家老草野正辰が書いた「手控(てびかえ)」を通して紹介します。
9月12日(日)	体験学習 「浦尻貝塚の 土器をつくってみよう」	10:00～15:00 定員 20名 講師 佐藤祐子学芸員 初心者向けの土器作り講座。粘土を積み上げ縄文で模様をつけ、製作技術とその歴史を学びます。 【持ち物】タオル2枚 新聞紙3枚 ※昼食をご持参ください。
9月18日(土)	博物館講座 「昔のくらし体験」	9:00～12:00 定員 20名 講師 佐藤友之主査 会場:旧武山家住宅(原町区北原字大塚) 旧武山家住宅で昔の生活を体験します。昔の灯りの体験や、蚊帳などに入ってみます。
10月16日(土)	博物館講座 「南相馬の浜下り」	13:30～15:30 定員 40名 講師 佐藤友之主査 浜下りの映像鑑賞を中心に、南相馬市内に伝わる浜下りについて紹介します。
10月17日(日)	相双管内史跡めぐり	9:00～15:00 定員 22名 講師 当館学芸員 相双管内の史跡・神社仏閣をめぐり、相双地区の歴史について学びます。
10月23日(土) ～24日(日)	体験学習 「化石をとって展示しよう!」	①10月23日は13:30～15:30 ②10月24日は9:00～12:00 定員 20名 講師 竹谷陽二郎氏(福島県立博物館専門学芸員)・平宗雄氏(相馬中村層群研究会) ジュラ紀の化石を採集したあと、博物館のエントランスホールに化石を展示してみましょ。 ※2日連続で参加できる方のみ 【持ち物】軍手・新聞紙・手さげ袋など
11月13日(土)	体験学習 「わらそうり作り」	9:30～12:00 定員 20名 講師 米倉 豊氏 【材料費】300円 わらそうりを作り、自給自足の時代のくらしとわらを使った生活用具について学びます。
11月20日(土)	博物館講座 「鹿島の寺院」	13:30～15:30 定員 40名 講師 佐藤友之主査 特別展「鹿島の寺院」にちなんで、展示資料についての解説を行います。

8月1日・9月5日・10月3日 11月7日・12月5日 古文書解説講座 13:30～15:30 定員 20名 【持ち物】原稿用紙・筆記用具
相馬の歴史について書かれた江戸時代の記録書「東奥中村記」をテキストとします。

民話の世界


と き 10月11日(月) 体育の日
10時30分～
ところ 旧武山家住宅
(原町区北原字大塚)
民話語り部 菅野清二氏、佐藤一子氏
荒一之氏、宮本晴一氏、渡部弘氏
江戸時代に建てられた農村に住んだ
武士の住宅の、いろいろたで楽しい民話
を聞きます。



◆地域伝統文化振興事業 観覧無料

古武道演武

と き 8月22日(日) 午後1時45分～
ところ 県立東ヶ丘公園
西側芝生広場(博物館前)
相馬に伝わる古武道流派の演武を
おこないます。馬術・弓術・炮術を予
定しています。詳細はポスター・市の
広報紙等でお知らせします。



演武のようす(平成21年度)

各館のご利用案内

南相馬市博物館

問合せ 〒975-0051 原町区牛来字出口 194 電話: 0244-23-6421 ファックス: 0244-24-6933
E-Mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45(最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始 ※月曜日が祝・休日の場合は開館、その翌平日が休館日となります

観覧料 一般 300円(250円) 高校生 200円(150円) 小中学生 100円(80円) ()は20名以上の団体料金です。

※企画展開催中は観覧料が異なることがあります。市内(飯館村もふくむ)に居住・通学する小中高生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)

鹿島歴史民俗資料館

問合せ 〒979-2334 鹿島区西町三丁目 1 電話: 0244-46-4281 ファックス: 電話と同じ
E-Mail: k-shiryokan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45 休館日 毎週月曜日および年末年始 ※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日となります

観覧料 一般 110円(団体は20名以上半額) 中学生以下無料

※中学生以下無料 市内(飯館村もふくむ)に居住・通学する高校生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)